

「なんでも相談会」に会外から23名が相談に！読者2名増える

名古屋南民商では2月12日（水）に「中小業者のためのなんでも相談会」を熱田、南、緑、豊明の4カ所で開催。16名の役員が参加しました。

★豊明の相談会場は、竹内、村瀬、奥野の3人が対応。1人年金者と2人の業者が相談に：1人は、トラックの運転手で申告の仕方を教えてほしいと会場に。入会予定です。

もう一人は、豊明支部の服部さんに紹介された、今年の4月から独立、帳面の付け方が知りたいと入会申し込み書に記入してもらいました。

★南区会場は、板平会長はじめ、鈴木、林、山口（輝）、中野、水口、高田の7人が参加：相談者は6人、3人がサラーマンと年金者、3人が業者で1人が読者になって頂きました。業者の相談は、

1人は、法人を昨年4月に自分で設立したが、税金の事がまったくわからないと相談に、その場では入会になりませんでした。定款など確認して再度来所してもらう事になりました。

もう一人は、10月に看板屋を独立開業。青色を申請した

がわからないことばかりで教えてほしいと相談、再度、資料を持ってきて頂くことで、まずは、商工新聞読者になって頂きました。

もう一人は、「商工新聞」読者で、申告の相談にみえました。



★緑区会場は、竹内（一）、成澤、清原、吉田、山口（雅）が応援に入り、5人に対応：始まる前から相談者が訪れる等、12組が相談。業者は4組でした。

全員が申告相談。2月中に訪問予定です。

★熱田会場は、三浦、平林の2人に対応。読者で年金申告の方と、2か所から給料をもらっていた女性が相談。無事に終わりました。

引き続き根強い消費税率引上げ反対の声



2月16日（日）に名古屋南民商では、愛商連婦人部協議会（愛婦協）と合同で4月からの消費税率増税の中止を求める署名宣伝行動を、金山総合駅の南口で行いました。

名古屋南民商からは、婦人部、民商役員、事務局合わせて12人が参加。冷たい風が強く吹く中、参加者は道行く人に元気よく声をかけ41名分の署名が集まりました。

三浦副会長がマイクを持ち「消費税増税が社会保障のためというのは大ウソです。安倍首相は社会保障の全面解体をすすめています。消費税が上げれば営業も破たんし追い込まれます。世論の力で増税中止に追い込みましょう」と訴えると、「消費税増税は許せない」と署名に自ら寄って

くる人や「諦めないで声をかけ続けることが大事だね」など消費税増税に対する国民の怒りが伝わってきました。



「8%、10%の消費税なんてとんでもない」「諦めないよ!」と署名集め

呼続支部の岡田さん夫婦は2月2日、白川公園で行われた「怒りの集会」に参加しました。集会後、岡田さん夫婦は、民商事務所から「消費税増税反対」の署名を取りよせ、近所や仕事先にも声をかけ「増税を止めさせるには、多くの声をあげることが大事」と59筆の署名を集めました。また、最近、奥さんが亡くなった支部の仲間が「申告のことが心配。消費税など税の滞納もある。落ち込んでいる」と相談され山口支部長と訪問し跡継ぎの息子さんも交えて懇談しました。「みんなで助け合うのが民商だから」と、励ましています。



「継続した震災支援」と「原発ゼロ100万人署名」の二つとして、「原発ゼロ」署名の取り組みに促されて団地やパート先の介護に携わる仲間にも声をかけ100筆以上の署名を集めています。

また、愛婦協の「福島被災地視察・交流ツアー」に向け2月18日の婦人部役員会（9人参加）では名古屋南民商婦人部からも代表派遣することをきめました。清原晶子さん（常任理事）は福島島の支援のために早速、カンパ袋を作り訴えています。

婦人部長の手嶋久美子さんは愛婦協の「継続した震災支援」